

MUSIC LIVE at naeme farmers stand

Spring Breeze

沢田穰治と3人のアーティストによる歌と朗読

JYOJI SAWADA

(guitar, bass)

×

Lico (Vocal)

18:30 - 19:00

Kuwazuru Makiko (朗読)

20:00 - 20:30

Yae (Vocal)

19:15 - 19:45

+ Noriyuki Imanishi (clarinet, sax)

2025 **03.12** Wed
naeme farmers stand

Open:18:00 | Music Charge ¥2,000

クラフトビールやナチュラルワイン、春の食材を使ったフードもご用意します

場所:naeme farmers stand (千葉県鴨川市細野1125-1) お問い合わせ:050-1551-0964

Spring Breeze

沢田穰治と3人のアーティストによる歌と朗読

沢田 穰治 (guitar, bass)

音楽家、写真家、Unknown Silence代表。映画やアニメのサウンドトラック、舞台作品の音楽、フィールドレコーディング作品の制作、アルバムのプロデュースなど、その活動領域は音楽が存在する場所すべてといってもよいほどに多岐に及ぶ「破天荒音楽家」。プロジェクトごとに楽器(コントラバス、フレットレスベース、ギター、ピアノなど)を持ち替えるマルチ・インストゥルメンタリストであることが、沢田の表現活動をよりミステリアスなものにしている。ブラジル音楽の室内楽トリオである「ショーロクラブ(Choro Club)」での活動は30年以上にも及ぶ。近年では京都市立芸術大学で修復されたバシェ音響彫刻の研究にも関わり演奏家/作曲家としてロームシアターで公演。2018年には映像作家Vincent Moonとのコラボレーションも果たす。現代音楽及び邦楽器などのための室内楽作品の作曲と並行して、EPO、おおたか静流、川本真琴、畠山美由紀、Vinicius Cantuaria、Joyce Moreno、太田裕美、忌野清志郎、jimama、松下奈緒といった数多くのシンガー/音楽家たちの公演やアルバム制作プロデュースに精力的に関わる。2022年には七尾旅人の新作アルバム「Long Voyage」にストリングアレンジ他で参加。



個人の音楽プロジェクトとしては、作曲家の窪田ミナとの「Nowhere Chamber Ensemble」、高木正勝らとの「Closeness Ensemble of Kyoto」、鈴木大介と馬場孝喜との「Quiet Answer Trio」、ジャズ回帰をテーマとする「Contra Banda」を展開中。ピアノソロ作品「アヴァンギャルドな金魚」もリリースした。2020年、闘病を機に個人レーベル「アンノウン サイレンス(Unknown Silence)」を始動。コンセプトは「私たちがまだ耳にしたことのない音を日本から世界へ国境を越えて発信する」レーベル!自身がプロデュースしたい音源などラインナップを展開中。

Lico (Vocal)

東京生まれ。2004年から音楽活動を開始。当初は社会人ピクバンド、ギターデュオ、ジャズライブ活動を中心に行っていたが、ボサノヴァを歌うようになり、ポルトガル語の美しさやブラジルの文化の豊かさに魅せられ徐々にブラジル音楽に傾倒。現在はブラジルの大衆音楽フォホー(Forró)を演奏する日本人女性だけのバンド「Forró Flor de Juazeiro」でメインボーカルを担当。フォホーだけでなく、サンバ・イ・ガフィエラ(Samba de gafieira)向けのバンドも結成しダンスイベントを主催、またショーロクラブのベーシストである沢田穰治氏とのデュオ、パイア地方の音楽へのチャレンジ等、様々なジャンルのブラジル音楽を歌っている。

桑鶴 麻氣子 (朗読)

俳優。2010年より舞台や殺陣、緊縛パフォーマンス、美術モデルなど様々な表現に関わり、現在朗読を中心に活動。音楽と朗読の融合を試みるシリーズイベントを主催。今昔物語をテーマにした「みみをすます」・近代の文学作品に自身の解釈を入れた「アバンギャルドな〜」2方向に展開した。またSol Lights TuningのTuner生観院吉祥として、眠りに特化したリラクゼーションや、女性のお悩み、美容、が得意として好評を得ている。京都⇄神奈川を着物と猫と、創作活動を続ける。

Yae (Vocal)

半農半歌手/シンガーソングライター。故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。2001年に歌手デビュー。NHKみんなのうたや人気ゲームソフト「ファイナルファンタジークリスタルクロニクル」の主題歌などを歌唱。世界平和音楽祭や国内外での音楽祭を主催または積極的に参加。家族5人とともに自然豊かな里山「鴨川自然王国」で、農を取り入れた農的暮らしを営む。環境省「つなげよう・支えよう 森里川海プロジェクト」アンバサダー。ラジオなどのパーソナリティーを務めながらライブを中心に全国で活躍中。2020年にアルバム「On The Border」そして2023年9枚目のアルバム「80億の祈り」をリリース。ラジオ深夜便のうた「HOME」を発売中。

今西 徳之 (clarinet, sax)

大学卒業後、農的生活にあこがれ南房総鴨川市に移住、自給自足的生活を始める。その後、安房手作り醤油の会や里山生活お助け隊などの地域の自給や自立をテーマとした活動に関わる。ごみ処理問題や残土問題に取り組む環境ネット安房の共同代表、メガソーラー建設に反対する鴨川の山と川と海を守る会の事務局を務める。60歳目前に音楽活動を再開し、ショーロを中心にブラジル音楽の演奏を行っている。

2025
03.12 (Wed)
naeme farmers stand

Open:18:00 | Music Charge ¥2,000

クラフトビールやナチュラルワイン、春の食材を使ったフードもご用意します

場所:naeme farmers stand (千葉県鴨川市細野1125-1) お問い合わせ:050-1551-0964